

令和 3 年 5 月 26 日

新型コロナウイルス感染症拡大状況下での活動調査報告書

1. 調査目的：現在の活動状況の把握とコロナ禍での工夫などの情報収集
2. 調査期間：令和 3 年 4 月 12 日から 4 月 30 日まで
3. 調査対象：ボランティアセンター登録
団体ボランティア 64 団体
個人ボランティア 103 人
4. 調査内容：緊急事態宣言期間と解除期間での活動状況。
 - ①令和 2 年 4 月から 6 月まで発令した緊急事態宣言の時
 - ②解除後の 7 月から 12 月まで
 - ③令和 3 年 1 月から 3 月まで発令した緊急事態宣言の時
 - ④現在の令和 3 年 4 月の状況オンライン活動について
5. 調査方法：文書もしくはインターネットのどちらかを使用して回答
 - (1) 文書：別紙「ボランティア活動状況調査」記入後、ボランティアセンターへ FAX もしくは持参。
 - (2) インターネット：「ボランティア活動状況調査」Google フォームにて回答。
6. 回収状況：65 件（団体ボランティア 41 件、個人ボランティア 25 件）
7. 調査結果：令和 2 年 4 月から 6 月に出た緊急事態宣言以降、各々対策をしながら活動を再開している。さらに、オンラインを導入したり、コロナ禍でも活動できるよう内容を工夫しているボランティアも見受けられた。

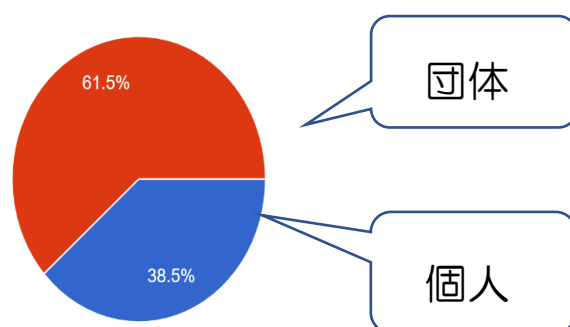
ボランティア活動状況調査

回答者

回答 : 団体ボランティア 41 (9) / 64
個人ボランティア 25 (4) / 103

※ () は、オンライン回答

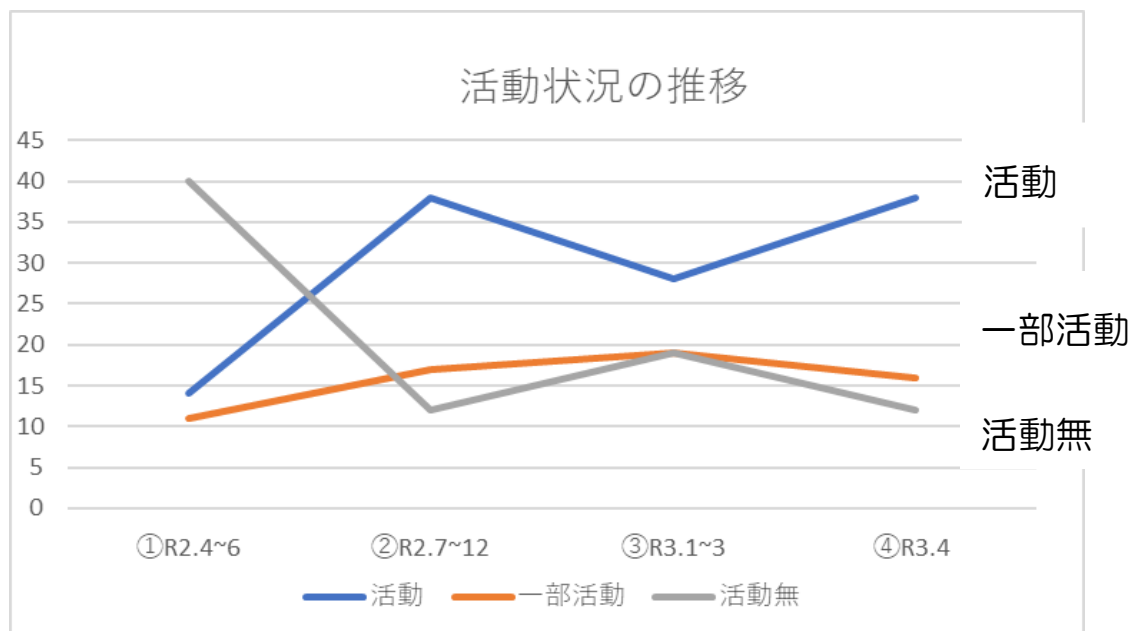
個人ボランティアですか？ 団体ボランティアですか？
65 件の回答



1. 活動状況調査

1-1.活動状況の推移

- ①令和2年4月から6月の緊急事態宣言時
- ②令和2年7月から12月
- ③令和3年1月から3月の緊急事態宣言時
- ④令和3年4月現在



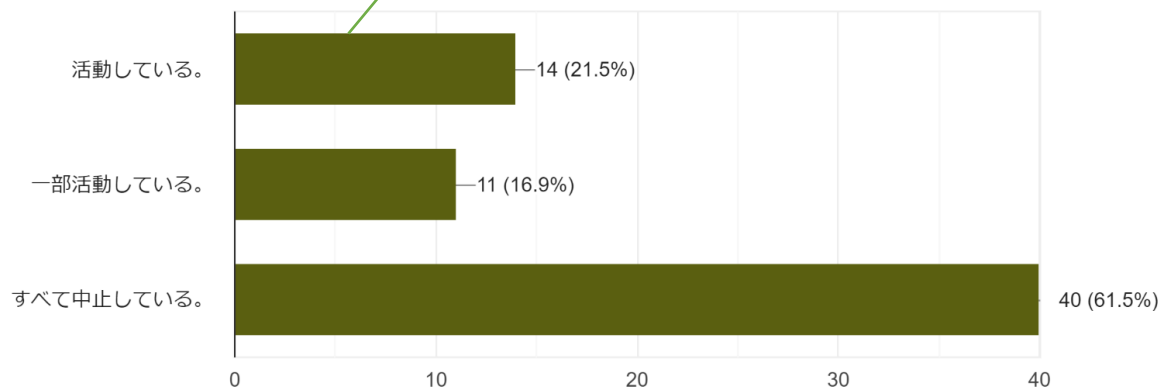
1-2.活動状況（複数選択可）

①令和2年4月から6月の緊急事態宣言時

感染リスクに気を付けているから・・・8
屋外活動だから・・・・・・・・・・6
オンラインを活用しているから・・・1

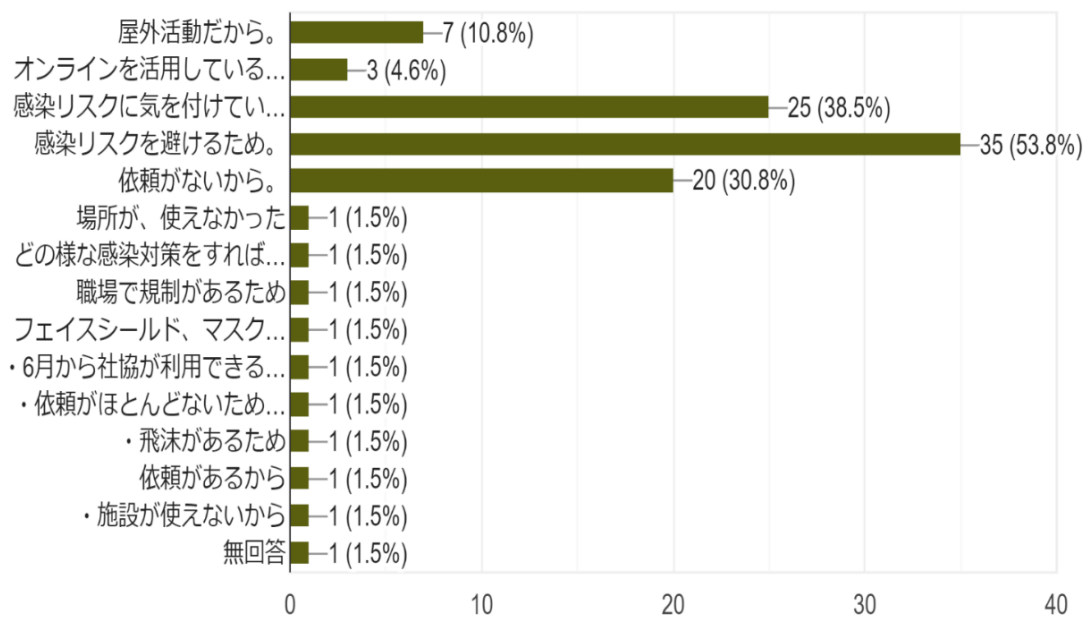
①令和2年4月から6月まで発令した緊急事態宣言...の打合せや施設訪問のための練習も活動とする。

65件の回答



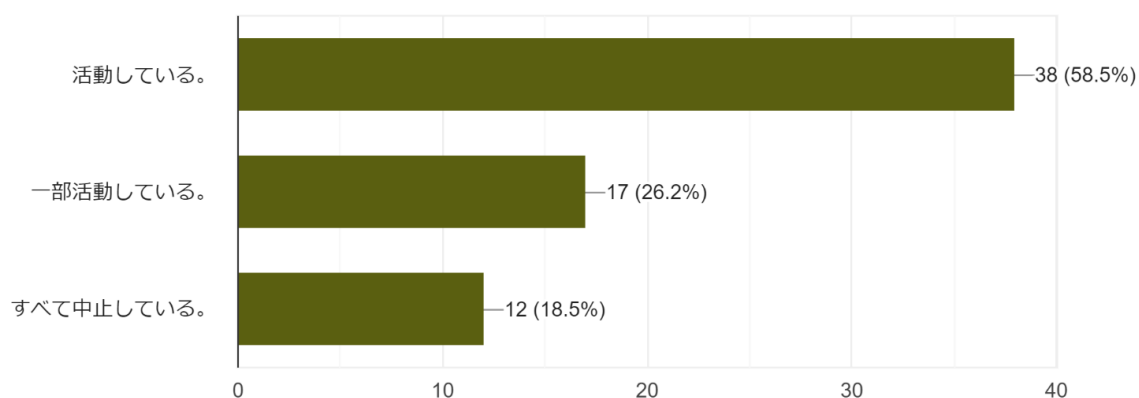
それは、どうしてですか？（複数選択可）

65件の回答



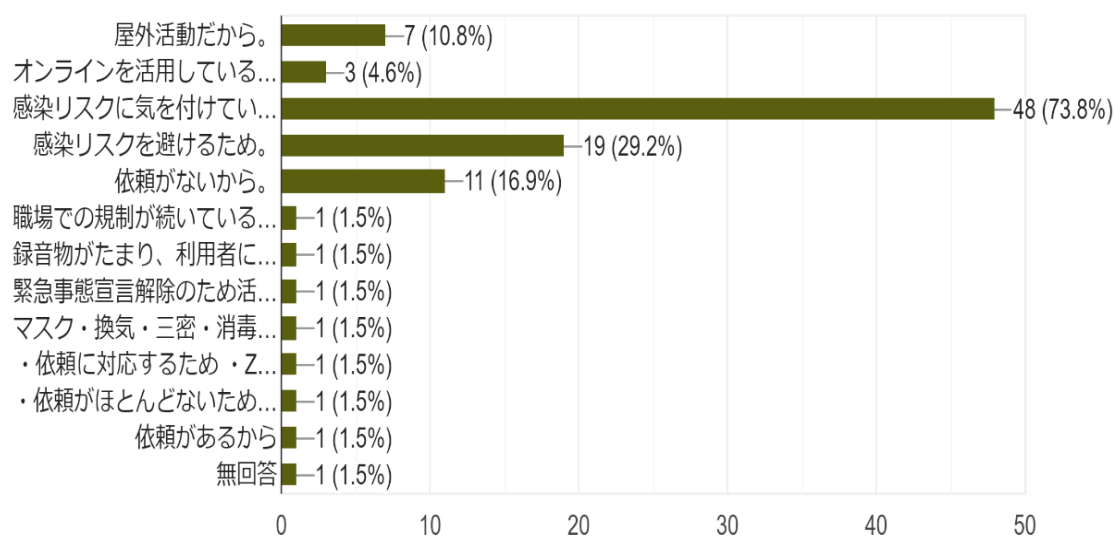
②令和2年7月から12月

②解除後7月から12月までの活動状況は？ ...の打合せや施設訪問のための練習も活動とする。
65件の回答



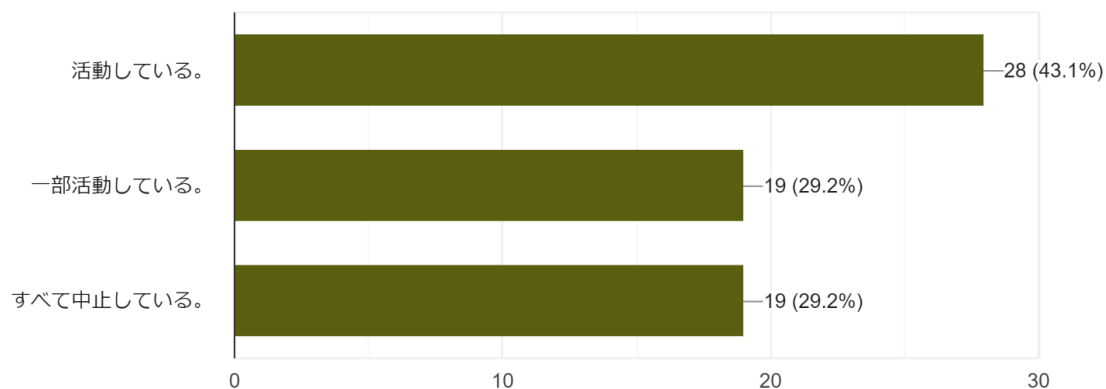
それは、どうしてですか？（複数選択可）

65件の回答



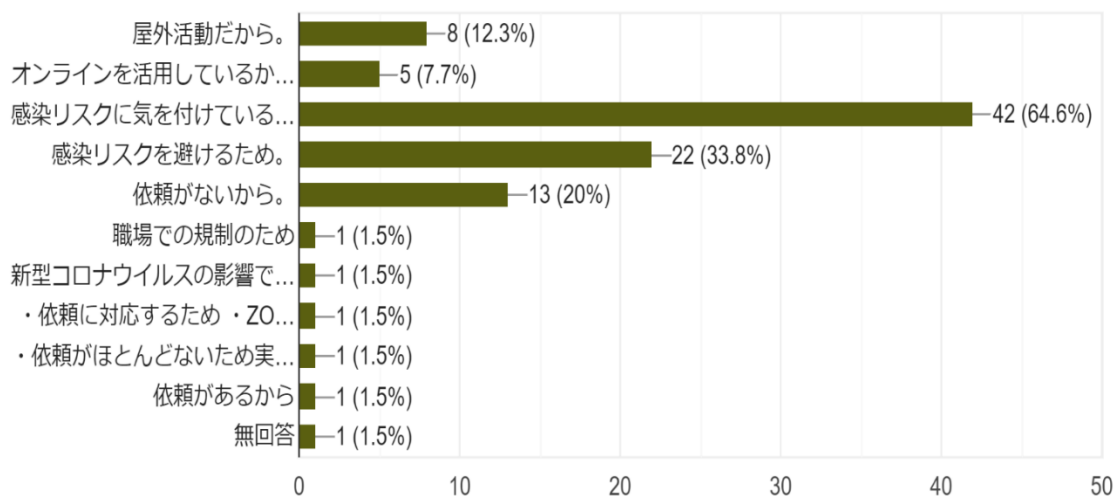
③令和3年1月から3月の緊急事態宣言時

③令和3年1月から3月まで発令した緊急事態宣言...の打合せや施設訪問のための練習も活動とする。
65件の回答



それは、どうしてですか？（複数選択可）

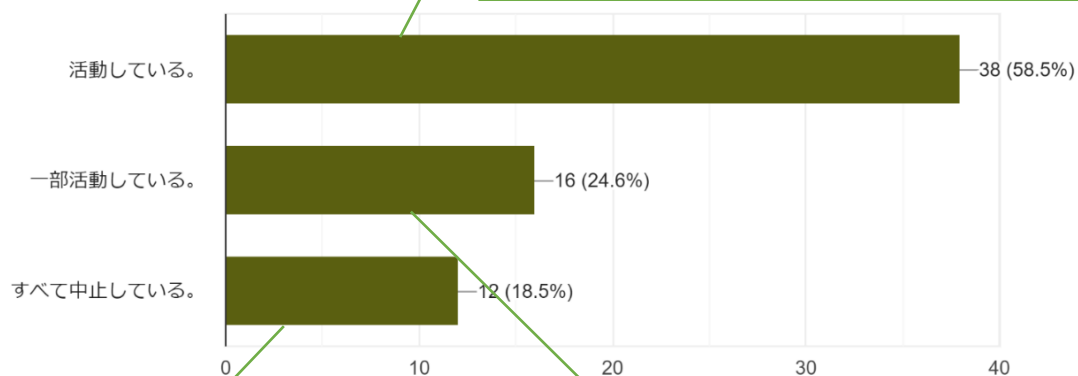
65件の回答



④令和3年4月現在

④現在4月の活動状況は？

65件の回答



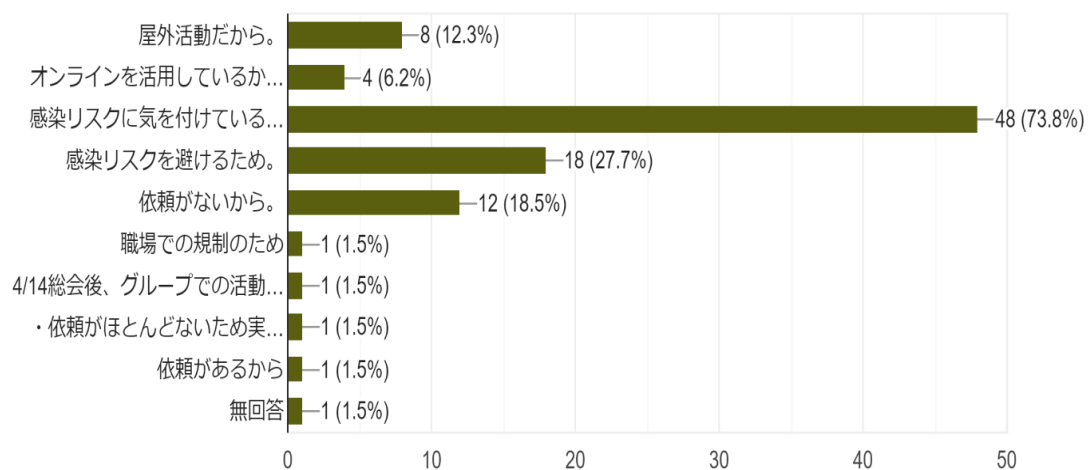
感染リスクに気を付けているから・・・30
屋外活動だから・・・8
オンラインを活用しているから・・・1

感染リスクを避けるため・・・9
依頼がないから・・・8
感染リスクに気を付けているから・・・3

感染リスクに気を付けているから・・・15
感染リスクを避けるため・・・7
依頼がないから・・・3
オンラインを活用しているから・・・3
屋外活動だから・・・1

それは、どうしてですか？（複数選択可）

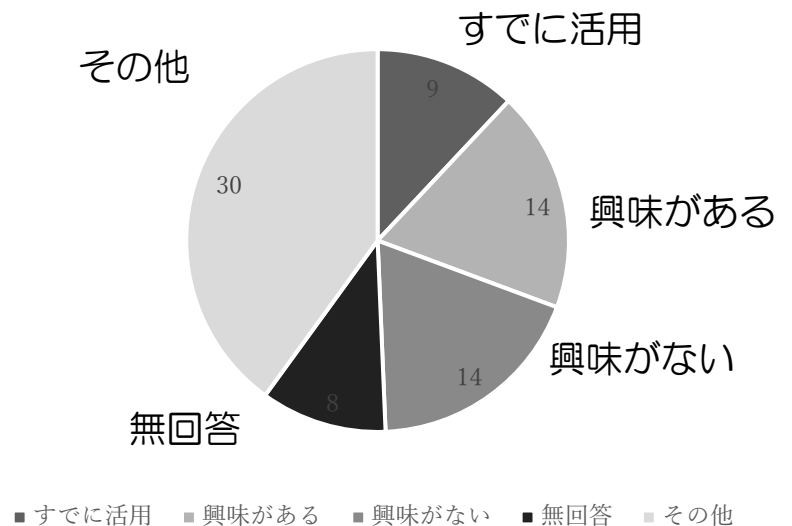
65件の回答



2. オンラインを活用したいですか？（複数回答可）

すでに活用	9
興味がある	14
興味がない	14
無回答	8
その他	30
合計	75

今後活動にオンラインを取り入れたいですか？



その他の内訳

- ・オンラインにボランティア活動が向かないから。
- ・大変そうだから。
- ・PC がない、環境が整っていないから。

など

3. コロナ禍での工夫 手指消毒/マスク着用/三密を避ける等以外

- マスクをしたままの演奏をさせてもらった。
- いつもはわらべ歌などを一緒に歌ってもらうのだが、コロナ禍ではやめて、演奏を聞くだけにしてもらっている。
- 時々Zoom も利用。
- 消毒をする、来た人の連絡先の確認をした。
- Zoomを利用した回想法勉強会へ参加している。
- 会議内容や連絡は、LINE やメールで共有した。
- 読み聞かせに適したマスクを、実際に何種類か試して、探し出した。
- フェイスシールド、マスク、ポリ袋を活用した防護服作り講習を行った。
- コロナ禍での活動方法（ZOOM活用など）を他市団体・友人と模索した。
- オンラインでできる活動はできる。
- 利用者さんとのつながりを保つため、ボランティアの気持ちを伝えるために、葉書を送った。
- 時間が取れるため、今までできなかった難しい曲にチャレンジしている。
- 事前予約、連絡が取れる人のみ参加。